

感謝と希望

新たなステージへ

南三陸町長 佐藤 仁



新しい年の始まりにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。町民皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと心から喜び申し上げます。改めて昨年を振り返りますと、終息が見えない「新型コロナウイルス感染症」対策に奔走した1年でありました。現在はインフルエンザとの同時流行が懸念されるなか、町民皆様の安心安全を守っていくうえで、今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策をしっかりと行い、行政ができる最大限の対策を講じてまいります。

復興の歩みを全国に発信するイベントとなりました。震災直後の平成23年4月から令和4年5月まで、この復興市に携わり南三陸町を共に盛り上げていただきました。実行委員会をはじめ全国各地の支援者の方々、毎月月末を楽しみに来場された方々に、心より感謝申し上げます。10月には、防災学習の拠点となる東日本震災伝承館「南三陸3.11メモリアル」と「志津川駅」の交通ターミナル及び観光交流施設が完成し、平成29年3月3日に先行してオープンしていた商業施設「さんさん商店街」を含めた道の駅「さんさん南三陸」がグランドオープン出来たことは震災からの歩みの一区切りでもあります。と同時に新たなスタートであるという思いを感じております。命の尊さ、苦難に負けない心、笑顔と絆を絶やさず支え合いながら生きることの喜びを語り伝えていかなければならない、この町に住

む者の使命と想うからであります。これからの南三陸町の未来に向けて、この道の駅「さんさん南三陸」が人と人の繋がりを育む施設となることを願っております。故郷を取り戻し、次の世代に希望ある未来を引き継ぎなければという一心で、これまでの日々を歩んできましたが、ここまで辿り着くことができたのは、今でも多くの方々が町に対し、思いを寄せてくれていたからこそであると改めて感じ、感謝の念に堪えません。本年も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策と地域経済活動の両立を推進しながら、この町の将来を担う子どもたちのため、持続可能なまちづくりの実現を目指す取り組みを進めてまいります。結びに、本年が町民皆様にとりまして輝かしい幕開けの一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

住民に寄り添う

まちづくりを

南三陸町議会議員 星 喜美男

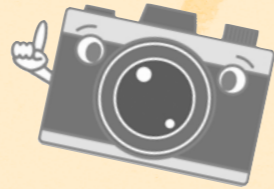


新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健康やかに新年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。昨年を振り返りますと、令和4年もまた、新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でありました。新型コロナウイルスは申し上げるまでもなく、感染等により苦しめられている方々のみならず、様々な面で、我々の日常生活に影響を及ぼしてあり、一日も早い終息が望まれるところでもあります。そのような中であって、昨年からは徐々に経済活動の回復も視野に入れている兆しも見えてまいりました。

教育や生活それぞれの場においても、緊張感を保ちつつ、少しずつ日常が戻りつつあることは、関係者の方々の尽力があればこそ、改めて敬意を表するものであります。世界に目を向けても、長引く戦禍等に起因する電力や燃料費等の高騰によって、町内経済や家計への影響が避けられない状況にもなっており、一刻も早く、この混乱した状況が終結することを心から願うものであります。

心施設として、今後の町の交流人口の拡大を図っていく役割も期待しているところでもあります。当町議会といたしましては、議会や町政に対する町民皆様のご意見、ご要望等を伺い、その思いの具現化に努めますとともに、町民のための議会として、町の発展と安心・安全を、そして、心豊かに暮らせる南三陸町の実現に向け、町並びに町民皆様と力を合わせてまいります。本年も町議会に対しまして、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が町民の皆様にとって希望に満ちた笑顔あふれる1年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

みなしぽ



この広報1月号は、12月20日現在の情報です。新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、この号でお知らせしているイベントなどが中止や延期となる可能性があります。その際は、町HP、防災行政無線やフェイスブックなどでお知らせしますので、ご了承ください。

第21回みやぎふるさとCM大賞で「knb大賞」を受賞しました！

12月3日(土)第21回みやぎふるさとCM大賞の発表審査会が開催され、南三陸町作品「SUN! FUN! DANCE!」が、最優秀賞の「knb大賞」を受賞しました。

みやぎふるさとCM大賞は、宮城県内の各市町村にそれぞれのふるさとの魅力を30秒CMで表現し、県民に広くふるさとの素晴らしさを伝えようと放送しているイベントです。

今回受賞した作品は、昨年10月にグランドオープンした、道の駅「さんさん南三陸」をはじめとした、町内各地区をオリジナルの音楽とダンスで、子ども達が明るく楽しく紹介するCMとなっています。今後、宮城県内で120回、東北各県20回のテレビ放送を予定しておりますので、ぜひご覧ください。



百寿のお祝い 佐藤よし子さん(Ⓢ新井田)

11月19日(土)に百寿を迎えた佐藤よし子さんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

よし子さんは、果物が好きで、若い時は銀行に勤めていたそうです。

73歳の時に、かえ唄「娘よ」の作詞を、96歳の時には、書画作品でふれあい書道展より特選にも選ばれたよし子さん。

お子さんが3人、お孫さんが5人、いらっしやるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。

よし子さん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。



百寿のお祝い 阿部はじめさん(Ⓢ大上坊)



12月6日(火)に百寿を迎えた阿部はじめさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

はじめさんは、読書が好きで、自分でお話を書いたりするそうです。

昔から仕事が好きで、長い間畑仕事をしていたはじめさん。息子さんは「時に優しく時に厳しく」という言葉が似合う母だったと話してくれました。

お子さんが7人、お孫さんが10人、いらっしやるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。

はじめさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

百寿のお祝い 佐藤キヌさん(Ⓢ沼田)



12月15日(木)に百寿を迎えた佐藤キヌさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

キヌさんは、好き嫌いなく何でも食べるそうで、ご長寿の秘訣は、毎日3食食べることだそうです。とにかく健康で80歳を過ぎるまで自転車に乗っていたキヌさん。色々な場所で畑仕事のお手伝いをしていたそうです。

お子さんが3人、お孫さんが5人、いらっしやるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。

キヌさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。